

落雷地点避難に生かせ



20カ所に測定局を設置。落雷の地点と時刻を瞬時に絞り込み、ウェブサイトの地図上で無料公開する試みだ。成田教授は「身近な場所に雷の危険が迫っているかどうかを知り、安全確保に役立ててほしい」と活用を呼び掛けている。(渡辺 渉)

市民参加型の観測網本格稼働

雷の発する特有の電波を捉えて落雷地点を特定し、感電などの被害防止につなげる市民参加型の観測網が構築され、本格運用を開始している。旗振り役の成田知巳・湘南工科大教授（電力工学）が他大学の研究者や知人の協力を得て、県内を含む全国約

成田教授の提唱で今春から日本国内での運用が始まった「落雷位置特定システム」は、安価な観測装置を置いた測定局で落雷時の電波を捉える。3カ所でキャッチすると、位置や時刻を高精度に絞り込むことが可能で、落雷のあった地点を1〜2秒ほどでサイトに表示できる。

湘南工科大教授ら

地図で特定、無料公開

大気の状態が不安定になると雷を生む積乱雲が次々と発生し、それに応じて落雷の地点が移動していくため、「サイトをチェックすれば、危険が迫ってきているかどうか知ることができ」と成田教授。「建物の中に逃げ込んだり、野外イベントを中止したりといった判断や行動に生かしてほしい」という。観測網はドイツの研究者を中心に欧米などで先行して構築された。観測装置は汎用品の基板やアンテナ、GPS（衛星利用測位システム）などを組み立てたもので、費用は3万円ほど。これを屋上やベランダに設置し、インターネットに接続すれば測定局として機能する。都内の自宅にも設置している成田教授は「リアルタイムのデータを無料で入手できるのがこのシステムの大きなメリット。測定局が多いほど位置特定の精度が高まるので、各都道府県に3カ所ずつは設置していきたい」と今後を見据える。サイトのアドレスは、(https://www.lightningsmaps.org)。成田教授が使い方を解説したページ (http://www.5656p.com/) もある。

安全の注意点

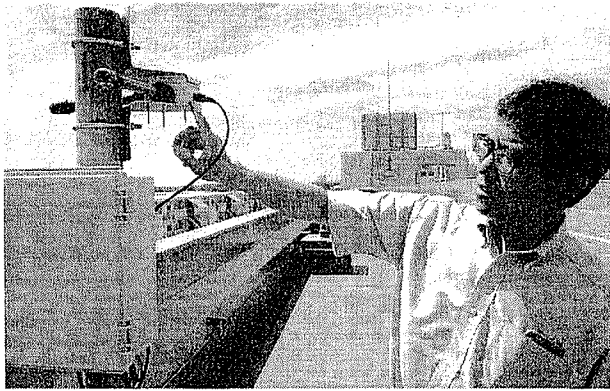
鉄筋建物や車内へ

落雷は夏に多い。今月19日には、多摩川河川敷の川崎市高津区で予定されていた花火大会が雷雨のため中止となり、公園のポールに落雷のあった世田谷区では男女9人がしびれなどを訴えて搬送された。落雷からどう身を守ればよいのか。

気象庁によると、落雷は平野、山地、海のどこでも起きるが、背の高いものを通して落ちることが多い。湘南工科大の成田知巳教授は「鉄筋コンクリート造の建物に逃げ込むのが最も安全。車の中も大丈夫」と解説する。仮に落雷があっても、鉄筋や車のボディーなどを電流が通るからだ。

これに対し、雨宿りや雷の直撃を避けようとして樹木のそばに身を寄せるのは危険。背の高い木には雷が落ちやすく、そばにいる人間に飛び移る「側撃雷」が起きる恐れが高い。木造住宅も安全とは言えないという。

成田教授によると、米国では今年に入り落雷が原因で13人が死亡。これまでの分析では、釣り客が最も多く、キャンプやボート遊び中も目立つという。「釣りざおやテントの支柱に電流が通りやすいため」と指摘する成田教授は「危険の兆候を感じたら、いち早くレジャーを中止するなど、早めの避難行動が欠かせない」と警鐘を鳴らす。(渡辺 渉)



キャンパスの建物屋上に設置した落雷の観測装置を確認する成田教授
＝藤沢市辻堂西海岸

ので、費用は3万円ほど。これを屋上やベランダに設置し、インターネットに接続すれば測定局として機能する。都内の自宅にも設置している成田教授は「リアルタイムのデータを無料で入手できるのがこのシステムの大きなメリット。測定局が多いほど位置特定の精度が高まるので、各都道府県に3カ所ずつは設置していきたい」と今後を見据える。サイトのアドレスは、(https://www.lightningsmaps.org)。成田教授が使い方を解説したページ (http://www.5656p.com/) もある。

「前見ていなかった」

徳島道事故
運転手供述 勤務先を捜索へ

徳島県鳴門市の徳島自動車道で25日に2人が死亡、14人が負傷した追突事故で、自動車運転処罰法違反（過失致死）容疑で逮捕された松山市のトラック運転手菊池警司容疑者（50）が県警の調べに「前を見ていなかった」と話していることが26日、捜査関係者への取材で分かった。県警は前方不注意の原因やマイクロバスのいた路肩側に進入、追突した経緯を捜査するとともに、菊池容疑者が勤務する松山市の運送会社「東西物流」を週明けにも同法違反容疑で家宅捜索し、業務や安全管理状況について事情を聴く方針。

同社の男性社長は26日、取材に「無理はさせておらず、健診もしていた。被害者の方には大変申し訳ない」と話した。県警によると、現場は片側1車線。現場付近には車線側から、車両トラパルでバスが停車していた路肩側

医師ら6人中 臍帯血、無届け

各地の民間クリニックが臍帯血を国に無届けで投与していた問題で、愛媛など4府県警の合同捜査本部が27日にも、無届けで投与したなどとして、再生医療安全性確保法違反の疑いで、東京都渋谷区のクリニックの医師や臍帯血販売業者ら計6人を逮捕する方針を固めたことが26日、捜査関係者への取材で分かった。

無届けで投与された臍帯血は、茨城県つくば市の販売された疑いもあるという。(報道部)

め、(家庭環境に) 何も問題がないと分かるまで保護すべき」と判断し、その場で保護。説明を受けた両容

長男暴行死 虐待か

おもちゃでたたき合っていたなどと説明したが、全身にあざがあったため、病院が翌24日に虐待の疑いが

んが殴られたり蹴られたりしているのを見た。注意し、日常的に暴行されていた